

BCP切替テスト実効性確認シート（サンプル）

使い方

- 1. 「状態」を【確認済】【回答待ち】【要テスト】【見直し】のいずれかで記入します。
- 2. 未確認事項には、確認先・担当者・期限を設定します。
- 3. 「業務再開への影響」に、未確認のままだと止まる判断や業務を記入します。
- 4. 項目数だけで可否を決めず、業務影響を基に優先順位を決めます。

注意：空欄は「問題なし」ではありません。確認が必要な項目として管理してください。

対象システム

更新責任者

作成日

次回見直し日

No.	確認領域	確認事項	状態	確認先	担当者	期限	業務再開への影響
1	切替対象	どこまで自動または手動で切り替わるか					
2	依存関係	認証、ネットワーク、名前解決、外部連携を利用できるか					
3	データ	切替後のデータを業務で利用できるか					
4	権限	復旧用アカウントと認証手段を利用できるか					
5	判断	続行、中止、切戻しを誰が判断するか					
6	委託先	連絡先と対応範囲が明確になっているか					
7	業務確認	誰が何を確認すれば業務を再開できるか					
8	通常運用	監視、バックアップ、問い合わせ体制を再開できるか					
9	記録	結果と改善事項をどこへ残すか					
10	再確認	構成や契約の変更後に何を再テストするか					

優先対応メモ				
優先度	未確認事項・課題	次の対応	担当者	期限
A				
B				
C				

記入時の注意

- ・本シートは、BCPや切替テストの有効性を点数で認証・保証するものではありません。
- ・対象システム、契約、運用体制に合わせて確認項目を追加・変更してください。
- ・構成、権限、委託先、運用手順を変更した場合は、影響する項目を見直してください。